こうさてん　第3号

発行　御宿新田区
代表　御宿新田区長　広報委員会　湯川晃司

御宿新田区長　湯川晃司

四月に就任して、3ケ月が経ったわけですが、四月十五日に第一回の役員会により、事業計画及び本年度の事業計画が発表され、区の行事が始まりました。

継続事業がほとんどです。前年度から各協議員六名の役割分担が変更となり、区の担当事業が細分化し、区民のサービスがしやすくなっております。

今年度もカルチャー教室の開催を致します。区民の多数の参加を期待しています。

御宿新田タイムス発行も年二回くらい計画しています。

検討については、本年度は防犯及び区内安全点灯を重点的に取り組みます。

特に重点的に取り組みます。

理由は、関東自動車㈱の主機能移転に伴う人員増が見込まれ、当然通勤車両が増となる、東名インターを中心とし、当地の発展が考えられ、アパート、マンション、個人住宅が必然的に増える事が予測され、主要道路は渋滞し、通勤に急ぐ車はますます当地の枝道へ進入してきました。

この様な中、富岡小・中学校へ通う子供達も多くなり、人と車のバランスが悪くなることが予想されます。事故に繋がる確率が高くなり、安全確保が難しくなって来るのではないかと思われます。

そのため、道路の拡張・新設等については以前要望として市に提出済みの3094号線、3092号線、3096号線の第一位順位として3098号線が完成しだい準備に入りますので関係者の御協力をお願い致します。

体育祭も二十九回という数を重ねてきました。

歴代の体育委員長さんの目的意識を持った責任、使命感で続けてきてくれたと思います。

重ねていく役員の皆様の協力をお願いします。

委員会だより

体育委員会

委員長　大代正明

前期の行事が始まりました。

父親&大人&婦人&皆様の会バレーボール、ソフトボール、積極的な新田区ボール大会に協力をお願いします。

昨年のソフトボール大会に引き続き優勝しました、父親の存在を、おお出しすることが出来ました。

新田区の各行事に参加をお願いします。

市の交流が深まり、他の地区に出場し、御支援を頂き、楽しい人に声を掛けて楽しい行事にしたいと思います。

最後に、皆様のご協力で盛大な体育祭が出来た事を感謝します。

自主防災会

新起震車の体験

会長　杉本信義

日頃自主防災活動に御協力ありがとうございます。

本年も区体育祭に合わせて起震車による地震体験を多くの方に参加していただきました。

今回の起震車は実際の地震の揺れにより近い体験ができました。

地震の揺れを感じて頂け、揺れたと思う凄さを知ってもらいたいと思います。

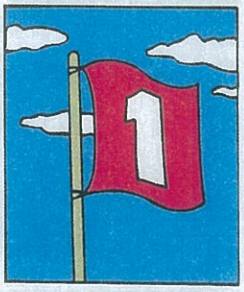
子供会

世話人　田中英幸

平成十八年度は、十人の男子十八人、女子十八人でスタートしました。

勝田ドッジボール大会、新田ミニバスケット大会、第三位入賞、第六回子ども会総会、第十回春優勝、第三回成績収穫、十月の一日に、十月の一日に、十月の一日に

体育祭



体育委員長　大代正明

第二十九回御宿新田体育祭が、皆様のご協力により盛大に行われました。区長を始め、実行委員、老人会、子供会、婦人会の皆様ご支援、ご協力有難うございました。

皆さんの日頃の行いが良かったので、良い天気に恵まれ、ケガをする人もなく、楽しく、いい汗をかいた一日でした。

今日は、この新種目を取り入れましたが、若干の不安はありましたが、皆さんの姿を見て、安心しました。

優勝　3ブロック
準優勝　5ブロック
三位　2ブロック

東海地震はどんな地震か？

北2組協議員　村田隆脩

『東海地震』は、駿河湾から御前崎沖の震源域、図1のE領域を発生すると予測されている大地震とされ、現時点では未発生のプレート境界地震に対して、つけられた名前である。

本来は図1の領域を震源域としてC～Eの3領域を震源とする地震『東海地震』と呼ばれていた。

＊想定『東海地震』は、駿河湾等を震源とする大地震とされ、E領域単独で発生する地震『東海地震』と呼ばれている。

＊想定『東海地震』は、図1のA～Dの2領域を震源とする地震『東南海地震』と呼ばれている。

＊想定『東南海地震』は、図1のA～Dの領域で発生する地震『東海・東南海・南海地震』と呼ばれている。

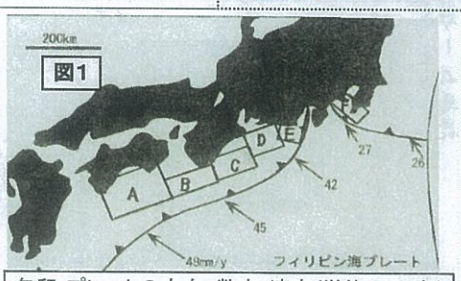
＊想定『東海・東南海・南海地震』は、図1のA～Dの領域で発生する地震『南海地震』と呼ばれている。

＊想定『南海地震』は、図1のA～Dの領域を震源とする大地震とされ、E領域を震源とする地震と同一連のものであり、メカニズムが同一の震源断層面である。

＊想定『東海地震』は、四国沖から駿河湾にかけてのプレート沈み込み帯に5つの震源域、図1のA～Eの領域が推定され、過去に東海・東南海・南海地震が生じてきたか論議されている。

これらの5つの震源域のうち、C～Dの領域では、1944年東南海地震が発生し、その歪みを蓄積している。

1946年南海地震が発生し、1944年東南海地震の震源域の開放されまで蓄積された歪みを開放しているA～B領域では、1946年東南海地震の震源域が図1のE領域に及んでいないこと、種々の観測事実から、この領域が近い将来に破壊されて大地震を予測させるものであるとされ、さまざまな対策がとられてきた。



矢印:プレートの方向　数字:速度(単位:mm／年)

これは『南海地震』と呼ばれている。

何よりも、E領域を震源とする大地震は、A～D領域を震源とする大地震と発生メカニズムが同一の震源断層面であるとされ、『東海地震』と呼ばれている。

このE領域単独発生地震は、先程触れたように、『駿河湾地震』と呼ばれている。

当初『駿河湾地震』と呼ばれていたE領域単独発生地震は、『東海地震』と呼ばれるようになった。

『東海地震』は、1854年に東海・東南海・南海地震が起こったとされている。

『東海地震』は、1944年東南海地震が発生してから、60年程度の周期で発生しているとされている。

『東海地震』は、1944年東南海地震が発生してから、60年程度後に発生する